

にのみやまちとしょかん 図書館だより

第 3 4 号



特集

あかちゃんと一緒に絵本を楽しむ ~あかちゃん絵本のリストができました~

「あかちゃんと一緒に絵本を楽しみたいのだけれど、どんな絵本がいいのかな？」二宮町図書館では、このたび、そんなお母さんやお父さんのために、“あかちゃん絵本”のリスト『あかちゃんをはじめてであう絵本』(写真)を作成しました。

あかちゃん絵本のリストについて

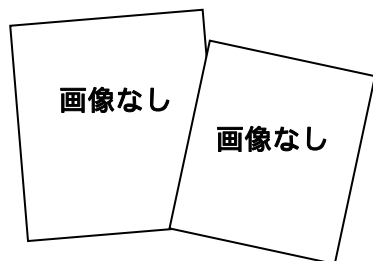
図書館 1F の「こどものほんコーナー」に「あかちゃんえほん」のコーナーがあります。そこにある 0・1・2 歳向けの絵本から、こどものほんコーナー担当メンバーがおすすめの 22 冊を選びリストにしました。

リストの最初のページ「~はじめに~」では、こんな文章をのせました。

「あかちゃんを心地よくさせるのは、あたたかい笑顔やことばかけ、だっこのぬくもりそして絵本も、きっとその手助けとなるでしょう。おひざにだっこで、お母さんやお父さんの声で、ゆっくりと心をこめて読んであげてください。絵本とすぐすひとときが、しあわせな時間となりますように。」まずは手にとってふれてほしい そんな思いでリストをまとめました。表紙の絵と挿絵は、二宮在住でやさしくあたたかい線が持ち味のイラストレーター くらかわこうさんをお願いしました。

リストは、「こどものほんコーナー」の奥に置いてありますので、興味のある方はご自由にお持ちください。

7 月 15 日から 30 日まで児童特設コーナーで、リストに掲載した絵本と共に展示しますので、どうぞご覧ください。



リストから 2 冊紹介

1 冊は松谷みよ子文・瀬川康男絵『いないいないばあ』。1967 年に出版され、長く読み継がれている絵本です。この表紙を見てなつかしさを感じる方も多いのではないのでしょうか。あかちゃんの大好きないないばあを、遊びながら楽しめるこの絵本は、はじめての 1 冊にぴったりです。

もう 1 冊はさえぐさひろこ文『ねんね』。2004 年出版の写真絵本です。動物のかわいい寝顔と優しい語りかけのことばに、大人もほっとする一冊です。

「あかちゃんえほん」のコーナー

「あかちゃんえほん」のコーナーは、おはなしのへやの前にあります。くつをぬいであがるスペースでくつろぎながら絵本を楽しむことができます。0・1・2 歳向けの絵本が集めてあり、赤い背ラベルが目印です。

大人と同じように、あかちゃんにもそれぞれ個性があることと思います。絵本に親しむ時期や興味の方向もそれぞれに違っていることでしょう。最初からページをめくって楽しむことは難しいかもしれません。あかちゃんにとっては、絵本もおもちゃのひとつ。そんな時は少し時間をおいてあげたり、一緒に遊べる絵本を選ぶなど工夫をしたり...。お母さんお父さんもゆったりした気持ちでいれば、あかちゃんと絵本を楽しめる時間はきっとやってくると思います。絵本や本選びのことなど、何かお困りのことがありましたらどうぞお気軽に職員に声をおかけください。



あかちゃんえほんのコーナー

さいごにあかちゃん絵本について書かれた本をいくつかご紹介します。

『赤ちゃんからの絵本ガイド』主婦の友社編 JL019.5 7

『絵本であそぼ!』パパ'S 絵本プロジェクト著 JL019.5 I

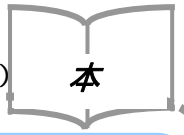
『赤ちゃんに贈る絵本ガイドブック』田中裕子著 JL019.5 7

『幼い子の文学』瀬田貞二著 JL909 7

新しく入った本 CD DVD

2008年5～6月新着分より

(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)



『男の老後力』
 (鷲田小弥太/海竜社/08.3/159.7㊦)
 男性にとって、様々な事が不安な老後。生活、夫婦、お金、病気・・・60代後半の筆者が、それら誰もが抱くであろう不安について、時に厳しく、時に優しく指南しています。

『かまくら切通しストーリー』
 (堤治郎/かまくら春秋社出版事業部/08.1/213.7㊦)
 南は海、東、西、北は山。陸路で鎌倉に入るには、必ず「切通し」を通らねばならない。鎌倉を開いた頼朝、そして鎌倉を訪れた歴史上の人物たちと「切通し」の物語。

『3年で辞めた若者はどこへ行ったのか - アウトサイダーの時代 - 』
 (城繁幸/筑摩書房/08.3/366.2㊦)
 「昭和的価値観」という戦後成長期に形成された仕事の価値観。そこから脱却した生き方をする人々の姿を紹介しています。「働く」という事について考えさせられる1冊です。

『サンゴを上手く飼うための本 - 飼育環境・難易度別で理解するサンゴカタログ - 』
 (樫出版社/08.3/666.7㊦)
 「サンゴって自宅でも飼えるの？」水質や照明を整えれば、水槽でサンゴを飼育できます。サンゴの種類、飼育のノウハウを解説する、初中級者向けサンゴ飼育ガイド。

『あの頃、あの詩を』
 (鹿島茂/文芸春秋/07.12/908.1㊦)
 団塊の世代が中学生だった頃に、国語の教科書に掲載されていた詩111編を集めたアンソロジー。青春時代に習った思い出の詩を見つけ出せるかもしれません。

『美しい日本語の風景』
 (中西進/淡交社/08.3/810.4㊦)
 言葉は移り変わるもの。それでは、「美しい日本語」とは？そして「美しいことばの使い手」とは？空と大地、人と心、そして四季、「美しい日本語」を写真とともに紹介。

録音 CD

『ヴォーカリスト 3』
 (徳永英明歌/62分/290ト3)
 徳永英明が女性ボーカルの名曲ばかりをカバーした「VOCALIST」シリーズの第3弾。繊細な女心を独特の声質でしっかりと歌い上げています。その響きに新たな感動を覚えます。

映像 DVD (演奏者、出演者 / 収録時間 / 請求記号)

『審理 - 裁判員制度広報用映画 - 』
 (原田昌樹監督 酒井法子(ほか)出演/60分/327㊦)
 平成21年5月施行の裁判員制度広報用映画です。裁判員として裁判官とともに審理に参加する3日間が描かれています。この制度を考えるきっかけとなるのではないのでしょうか。

展示テーブルから




『water 水:mizu』
 (竹村真一構成・執筆/ワールドフォトプレス/07.12/452.9㊦)
 今月の紹介本

今回の展示のテーマは「水」。水はわたしたちの身近にあり、無くてはならないものですが、ご紹介する本「water[水:mizu]」は、水について、世界、生命、地球、環境、化学などのさまざまな角度から改めて考えさせてくれる一冊です。

本書は07年10月から東京で行われた企画展「water」の関連図書で、まず冒頭から全頁の1/3を占める写真が続きます。まさに企画展の入口に立ったように、読者はその写真からメッセージを感じ取り、次の第一章に足を踏み入れることとなります。「世界は水 眼に見える水ばかりが水ではない・・・。」この言葉に私たちははっとさせられ、さらにページを進んでいくと・・・最後のページ・出口にたどり着くまでには、あなたは水のデザイナー???

こどものほんコーナーから

おすすめの一冊

『トムは真夜中の庭で』
 フィリパ・ピアス作
 岩波書店
 '88
 ピア

時を止め変わらずにいられたら。誰もが抱く叶わぬ思いに、救いと希望を与えてくれるとても美しい物語。

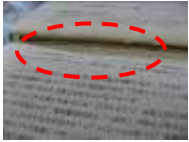
ミステリー仕立ての展開に次はどうなる!?とわくわく。イギリスの歴史にふれる楽しみもあります。

- 1 東京島 / 桐野夏生
- 2 そうか、もう君はいないのか / 城山三郎
- 3 風花 / 川上弘美
- 4 ゴールデンランパー / 伊坂幸太郎
- 5 夢をかなえるゾウ / 水野敬也
- 6 食堂かたつむり / 小川糸
- 7 おひとりさまの老後 / 上野千鶴子
- 8 償い / 矢口敦子
- 9 茨の木 / さだまさし
- 10 流星の絆 / 東野圭吾

図書館の仕事の一つ、「本の修理」について紹介します。

図書館では一日平均で10冊程、一ヶ月で200冊程の本を修理担当職員が修理しています。その大半は経年劣化（年月による劣化で糊付け部分が弱くなりページが取れたり、綴じ目がゆるんだりすること）によるものです。返却されたときや本を棚に戻しているときに、職員が気付いたものを一旦事務室にひきあげて修理をしています。

修理には本の修理専用の補修テープや糊を使用します。こどもの本の修理では劣化以外に破損箇所なども多く、工作的な細かい作業になることもしばしばです。一般書については修理が終わった段階で、いつ、どの部分の修理を行ったかという情報を本のデータに入力しています。ちなみに市販のセロテープ等は劣化が早く、すぐに剥がれたり変色したりしてかえって本が傷むため修理には使用しません。



綴じ目がゆるみ割れている「のどわれ」



ページが取れている「ページはずれ」

糊付け中。輪ゴムで一日ほど寝かせます。



二宮町の財産である図書館の本が少しでも長く利用していただけるよう、日々工夫をしながら修理作業をしています。本をうっかり破いてしまったり汚してしまった場合は、自分で直さずにそのまま図書館にお持ちになり職員にご相談ください。

ふう～ん



パフェの語源

フランス語で完璧を表す「パルフェ」が語源。英語でいえば「パーフェクト」完璧なデザートを意味しています。20世紀の初頭にフランスで作られ英語文化圏に広がったといわれています。

二宮ゆかりの人物

きたむら かおる
北村 薫 (作家)

どことなく昔めいた町並みを歩いて行く。反物を積んだ店などが見えるのが、懐かしい感じた。迂回した道は、また、私の乗って来た東海道線の近くに擦り寄って来た。(中略) 正ちゃんの家は、線路の近くの小料理屋である。名字が高岡なのに、どういうわけか屋号は吉田屋という。表を行くとお店になってしまうので、横手から入る。

二階の正ちゃんのお部屋に入る。お茶うけには、土地の名物の、砂糖をまぶしたピーナッツが出た。(北村薫著『朝霧』より)

北村薫(1949～)の『朝霧』は、「私」を中心とする3人の女子大生が会う日常の謎を落語家春桜亭円紫がヒントを出して解決する推理小説で、「私と円紫さん」シリーズとして知られています。

そのシリーズで二宮が登場する場面があります。主人公「私」の友人「正ちゃん」は神奈川のはずれに住んでいるという設定で、彼女の家に遊びに来る場面では駅の構造、名物の落花生など二宮を思わせる記述がいろいろ出てきます。作中で二宮とは表記されていませんが、2004年に宝島社から発行された北村薫の特集『静かなる謎北村薫』の著者インタビューによれば「その町は(中略)海の見える場所をと思い、ミステリ・クラブの後輩の住んでいる神奈川県二宮町付近をイメージしました」とあります。ミステリ・クラブとは早稲田大学在学中に在籍していたワセダ・ミステリ・クラブのことで、後輩というのは二宮駅北口の書店・文房具店「吉田屋」の店主、安藤恭一さんのことです。

安藤さんに伺ったお話によると、北村薫は後輩の安藤さんと非常に仲が良く、1969年頃にはクラブの機関誌発行のガリ版を切るため他のメンバーとともに2、3回二宮を訪れたことがあるそうです。また、卒業後のデビュー当時は作品

ができると編集者と同時に安藤さんにもコピーを送り、電話で感想を求めたりしていたということです。『静かなる謎北村薫』中の二宮の取材の案内も安藤さんがされたそうで、「吉田屋の正ちゃん」については「粋筋だから小料理屋っぽい」と安藤さんが感想を述べたことが反映されて小料理屋になっているのかもしれない、ということでした。

北村薫は鮎川哲也が主催するミステリ公募により1989年『空飛ぶ馬』でデビューしました。デビュー当時は埼玉県内の公立高校の国語教諭をしており、全てが不明の覆面作家でしたが、1991年『夜の蝉』で日本推理作家協会賞を受賞したのをきっかけに素性を明らかにしました。93年頃専業作家となり、現在まで「時と人」シリーズなどの小説をはじめ、評論・アンソロジーなど数多くの作品を発表しています。

今回の記事を掲載するにあたり、吉田屋店主安藤恭一さんから北村薫氏に関する大変貴重なお話を伺いました。ご協力ありがとうございました。



北村薫著『朝霧』

装画 高野文子
装幀 小倉敏夫

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『静かなる謎北村薫』(『このミステリーがすごい!』編集部編/宝島社/2004/910.2キ)、『朝霧』(北村薫著/東京創元社/1998/杓)、『空飛ぶ馬』(北村薫著/東京創元社/1994/B杓)、『夜の蝉』(北村薫著/東京創元社/1996/B杓)

お知らせ・お願い

課題図書のお知らせ

<夏休み期間中(～9月上旬まで)の課題図書の貸出について>
例年夏休み期間中に課題図書の利用が集中します。期間中、スムーズに利用されるよう以下の様にさせていただきますので、ご協力お願い致します。

貸出は一人につき一冊、一週間以内とします。
原則として、課題図書として使用される小中高生の貸出を優先します。
配架場所は児童展示テーブルです。貸出中の場合は予約をしてください。戻り次第ご連絡します。
連絡がありましたら、1～2日以内に借りに来てください。
課題図書の予約はインターネット及び館内利用者用検索端末からはできません。カウンターへお申し込みください。

二宮町図書館の電話番号について

図書館では、複数の電話回線を使用しているため図書館からの連絡時に代表電話番号(0463-72-6913)とは異なる電話番号が表示される場合があります。

【表示される番号】0463-72-6922、0463-72-6903

発信のためお問い合わせは代表番号へおかけください。

図書館内での飲食はできません!

特に夏の期間は飲み物の持ち込みが多くなりますが、図書館内での飲食は禁止しています。喫茶コーナーをご利用ください。

行事

くわしくはお問い合わせください。

■ 休館日

7月





日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

-  ちいちゃいおはなし会
第2水曜日(8月は第1水曜日)
-  おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび
第3土曜日(8月は第4土曜日)
-  わらべうたであそぼう!
第3金曜日(8月は第4金曜日)
-  雑誌のリサイクルコーナー
第4日曜日(9月は第3日曜日)

展示テーマ

6月 | 一般 / 『エコライフ～今日から私にも出来ること～』
| 児童 / 『とびたいな～』
| A V / 『自然環境の保護と自然の驚異』

7月 | 一般 / 『water～水をミル・ヨム・シル』
| 児童 / 『課題図書&小・中学生にすすめたい本』

特設展示

6月・・・『氷室冴子さん』『野田昌宏さん』
7月・・・『宮迫千鶴さん』『ターシャ・テューダーさん』(児童特設) } 追悼展示
『あかちゃんがはじめてであう絵本』(児童特設)

7月～8月・・・『宿題(自由研究・作文等)』(児童特設)

地域資料コーナー 展示ケース

7月～9月・・・『二宮ゆかりの人物 原 三郎
～「オリンポスの果実」田中英光著より～』

書庫の本紹介コーナー

7月～9月・・・『ベストセラー小説 1976(S51)年～1988(S63)』

利用者の声 Q&A

Q: 今日の神奈川新聞はどこにありますか?

A: 1階カウンター上にあります。閲覧される場合は職員に声をかけケースごとお持ちください。神奈川新聞のほかに、日刊スポーツと神静民報についても以前切り取りなどが発生したためにこちらで管理しています。



二宮町図書館講演会

「二宮と坂口安吾」

～この町を往来した近代作家たち～

講師: 金原左門氏(中央大学名誉教授)

日時: 10月13日(月・体育の日)

午後2時～4時

会場: 生涯学習センターラディアン
ミーティングルーム2

申し込み方法等の詳細につきましては広報にのみや8月号、館内掲示等をご覧ください。

ひとつだけ ～編集後記にかえて


ここ数年「何か新しい発見」=「ふう～んコーナーのネタ」という図式で常に考えているのだが、なかなかネタのストックができない。先日、助六寿司の名前の由来は歌舞伎助六からきていて、主人公助六の恋人の名が「揚巻」だったことから「油揚げ」と「巻物」で助六という粋な呼び名になったと聞き、へえ～!と思った。周りの人に話しても知っている人は少なかった。「ふう～んで使えるな」と密かに思っていた。なのに、今回ここで書く事が浮かばず、やむなくここで披露。ああ、また新たなふう～んを見付けなくては・・・。

編集・発行 二宮町図書館

住所 二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

 図書館だよりテーブル版もあります! お問い合わせください。

